

Information Session on ICT Systems and Tools for UTokyo Members (Conducted in English)

説明会資料日本語訳版

Part III: 東京大学での 教育活動に利用するシステム – UTALとUTOL

説明者: 雨宮智浩

情報基盤センター 教授

質問をslidoでお寄せください

このリンクにアクセスするか,

https://sli.do/ からアクセス

して以下のコードを入力

Outline

Part III:東京大学での教育活動に利用するシステム - UTALとUTOL

(はじめに)

- 1. UTAS
- 2. UTOL

(おわりに)

質問をslidoでお寄せください

このリンクにアクセスするか,

<u>https://sli.do/</u> からアクセス

して以下のコードを入力

しはじめに

本パートではUTASとUTOLを紹介します

東京大学で授業を始める前に,次の3つのシステムに慣れておく ことをおすすめします

- UTAS (UTokyo Academic Affairs System) … 学務システム
 - シラバスの登録や成績の報告に利用
 - 大学として公式に記録すべきこれらの情報を取り扱う
- UTOL (UTokyo LMS) … 学習管理システム
 - お知らせの掲出,資料の配付,出欠の記録,課題の受付に利用
 - 授業期間中の教員と学生の情報交換を支援する
- Zoom …オンライン会議ツール
 - 東京大学で最も広く利用されているオンライン会議ツール

→ Part II

U はじめに

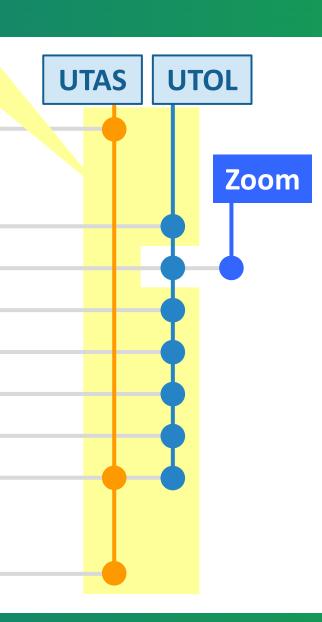
より詳しい内容は utelecon で確認できます



リ 授業の流れ

オンライン授業でなくても, 多くに共通して各システムを 使うことになります.

- 授業開始前
 - シラバスの登録
- 授業期間中
 - 授業時間外の学生とのコミュニケーション
 - オンライン会議の設定と会議情報の学生への周知
 - ・ 資料の配付
 - 出欠の確認
 - ・課題の設定,提出受付と評価
 - オンラインテスト
 - 休講と補講の設定と学生への周知
- 授業期間後
 - 成績の報告



U 各システムへのリンク





URLをブラウザのブックマークに登録しましょう

UTAS 学務システム

(はじめに)

- 1. UTAS
- 2. UTOL

(おわりに)

質問をslidoでお寄せください

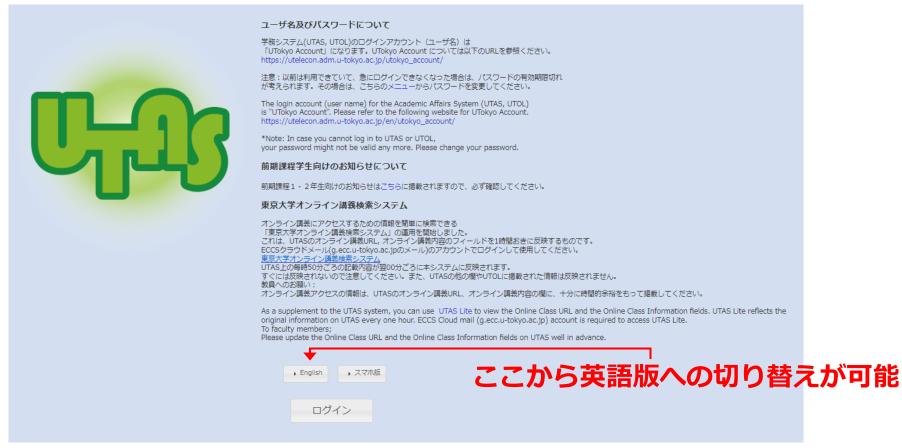
このリンクにアクセスするか,

https://sli.do/ からアクセス

して以下のコードを入力

U UTASにログインする

「ログイン」を押す UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、 サインイン画面に移ります. サインインしてください.



https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/

授業担当教員がUTASでしなければならないこと

詳細は授業を開講する学部・研究科の指示に従ってください (入力の時期,内容,方法など)

1. 授業のシラバスを登録する

- 参照:シラバス作成のためのガイドライン (和/英)
- 参照: UTASマニュアル(教員) (現在は日本語版のみ提供) 32~47ページ

2. 授業の履修登録者一覧を確認する

参照: UTASマニュアル(教員) (現在は日本語版のみ提供) 7~12ページ

3. 学生に授業の成績を付与する

参照: UTASマニュアル(教員) (現在は日本語版のみ提供) 13~31ページ



授業担当教員がUTASでできること

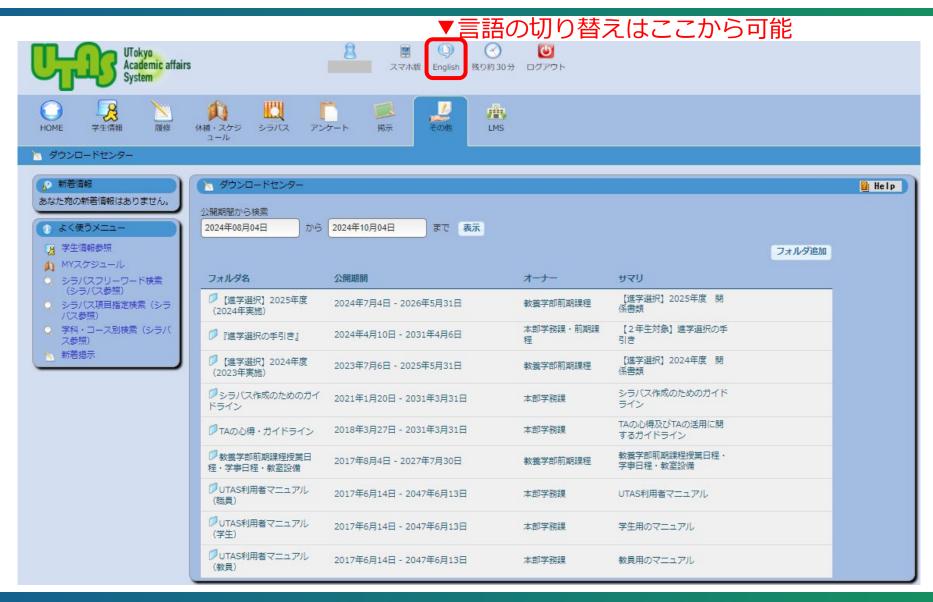
授業の開講関係

・授業の休講情報,教室変更情報,補講情報を登録する

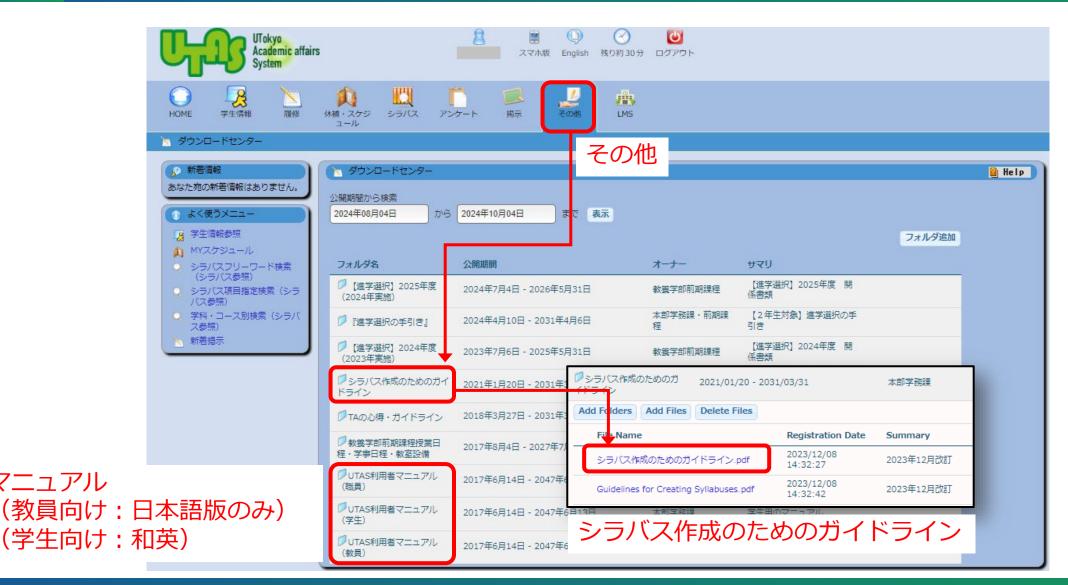
学生の研究指導関係

・指導担当学生の情報を閲覧する

UTAS:言語の切り替え(ログイン後)



UTAS:言語の切り替え



マニュアル

UTOL

UTokyo LMS(学習管理システム)

(はじめに)

- 1. UTAS
- 2. UTOL

(おわりに)

質問をslidoでお寄せください

このリンクにアクセスするか,

https://sli.do/ からアクセス

して以下のコードを入力

U UTOLへのログイン

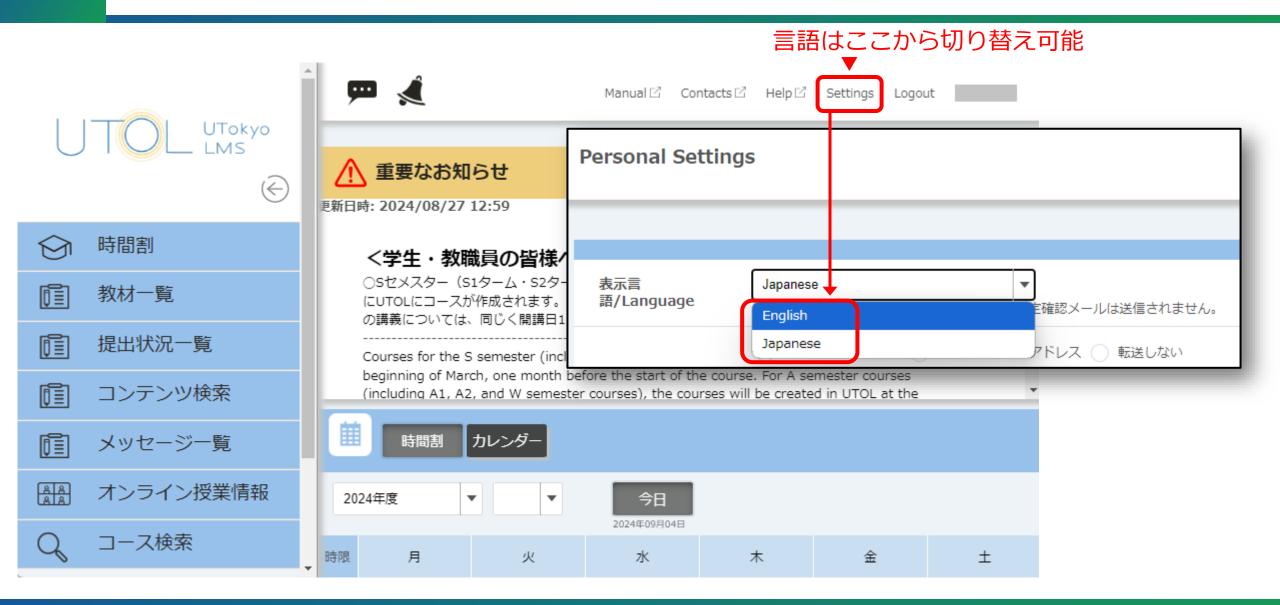
「ログイン」を押す

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、 サインイン画面に移ります. サインインしてください.



https://utol.ecc.u-tokyo.ac.jp/

UTOL: 言語の切り替え(ログイン後)



UTOL: 詳細マニュアル



- UTOL:便利な学習管理システム
- UTOL は全学で利用可能な東京大学の学習管理システムです
- ただし、利用するかどうかは各教員に委ねられています
 - 対面での開講の場合, LMS を利用せずに授業をおこなうこともできます
 - 一部の教員は ECCS クラウドメールで提供されている Google Classroom を使って います
- 学習管理システムとして、UTOL の利用を推奨しています
 - 学生にとってはシステムが統一されていることが望ましいです。
 - 受講する授業によって利用するシステムやツールがバラバラだと, 学生に混乱を生じさせてしまいます!
 - 担当教員とTAは、登録している学生と、お互いのメールアドレスを知らなくても連 絡を取ることができます



授業担当教員がUTOLでしなければならないこと

1. UTOL を利用するかどうか決める(シラバスにもその旨を反映)

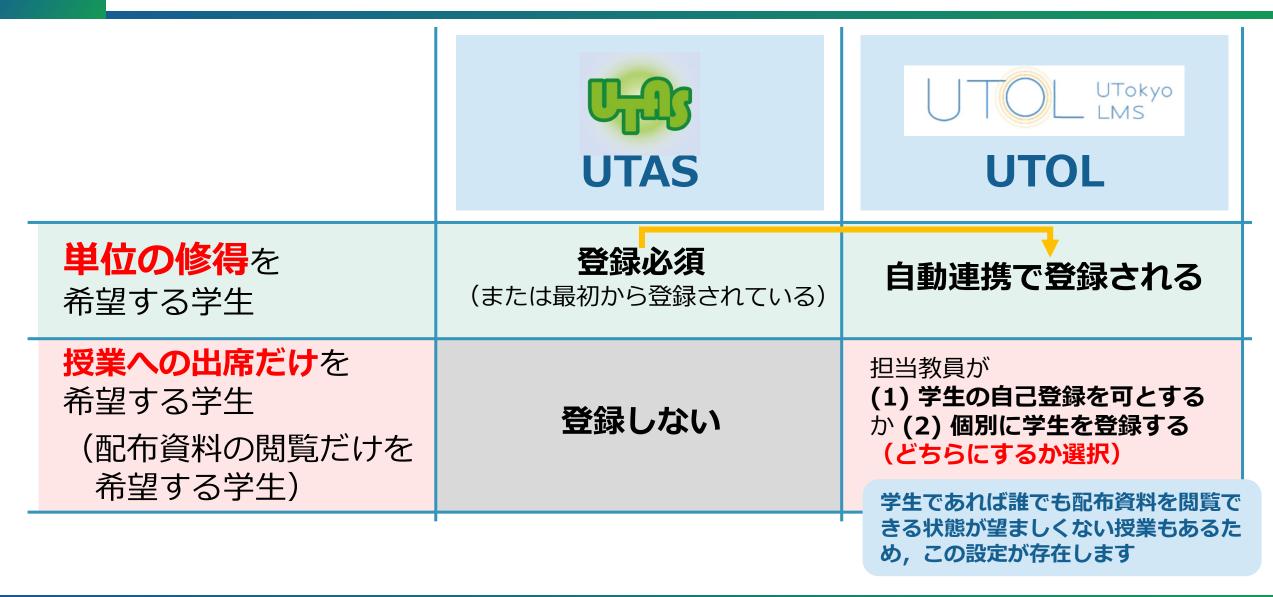
LMS を利用する場合は UTOLの利用を推奨しています

2. UTOL を利用する場合, 登録の制限を設定する

(「履修者範囲」の設定)

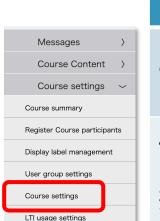


UTOLでの登録の制限とは





履修範囲設定の詳細



Course group

履修者範囲設定 UTASでの履修登録期間が 終わるまで

UTASでの履修登録期間が 終わって以降

常に『**登録方法によらず全** て』

履修確定日に『登録方法によらず全て』から『履修登録・ 担当教員登録のみ』に**自動切 替**
> 条件を満たさない学生は 履修登録期間末に強制的に登録解除

常に『**履修登録・担当教員登** 録のみ』

- ・UTASで履修登録している学生
- ・担当教員が直接登録した学生のみ

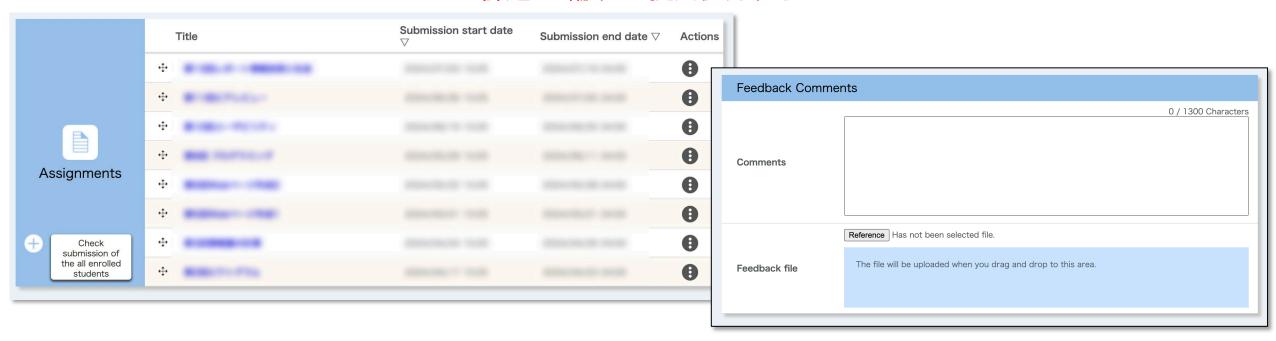
授業担当教員がUTOLでできること

- (授業に学生を招待・登録する)
 - UTASに登録された学生のみ許可し、講師が手動で招待しなければならない 学生がいる場合のみ許可する
- ・ 学生に資料を配付する
- 学生にオンライン授業の情報を知らせる
- 登録している学生やTAとのメッセージ(または全体通知)の送受信
- ・課題の作成し、共有し、提出させ、評価する
- ・出席を取る
- フォーラムでの意見交換
- 更新通知を受信する
 - メール, LINE, UTokyo Slack を通じて可能

UTOLに関していただいた質問

- Q1. ライティングのクラスを教えています. 学生の成果物に素早くコメントするのは簡単ですか?
 - A. 担当教員はUTOLでフィードバックコメントを登録できます. あわせてUTOLマニュアル 75-78ページもご覧ください.

課題 > 編集 > 提出状況確認



UTOLに関していただいた質問

• Q2. 1つのコース内で学生をグループに分けることはできますか. グルー プごとに異なる課題を割り当てたいです.

A. はい. 「ユーザーグループ設定」をクリックしてください. あわせてUTOLマニュアル 215-219ページもご覧ください.

Q3. フィードバックシートやドキュメントを特定の学生個人に対してアップロードすることはできますか?

A. はい. メッセージをご利用ください.

あわせてUTOLマニュアル 49-57ページもご覧ください.

U UTOL についてより詳しくは

utelecon の UTOL についての記事 (和英)

- 教員向け https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/lecturers/
- 学生向け https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/students/

UTokyo Portal の UTOL についての記事 (日本語のみ)

• 職員向け https://univtokyo.sharepoint.com/sites/utokyoportal/wiki/d/UTOL.aspx

参考資料(2024年3月実施の説明会資料およびその英語訳版) ※準備中

Summary

Part III:東京大学での教育活動に利用するシステム - UTALとUTOL

(はじめに)

- 1. UTAS
- 2. UTOL

(おわりに)

質問をslidoでお寄せください

このリンクにアクセスするか,

https://sli.do/ からアクセス

して以下のコードを入力

U おわりに

- 東京大学では、2020年の完全オンライン化以降、授業での情報システムやコミュニケーションツールの利用が急増
 - その後,対面授業への回帰がかなり進んでいるが,情報システムやコミュニケーションツールの活用は2019年以前と比べて大幅に増加
- 教室での情報システム利用のための環境整備も進んだ
 - Wi-Fiが教室に整備され、学生は自分のノートPCやデバイスを授業に 持ち込むようになっている

対面授業でもオンライン授業でも、情報システムを有効に活用していきましょう!